



参議院議員  
比例代表(全国区)

# はるこ ありむら 治子



## 初当選から20年 全国の皆様と共に

全国の同志の皆様こんにちは! いつも温かい友情とご支援を賜り、本当にありがとうございます。

世界を震撼させている新型コロナウイルス禍は、社会が抱える諸問題をあぶり出し、構造的な変化を加速させます。感染症発生源である中国、および世界最大の感染者数を更新している米国が、国際秩序や覇権をめぐる緊張を高める中、民主主義国家としての日本はいかに歩むべきか、解を見出さねばなりません。

全国の皆様に「ありむら」と投票頂き、参議院比例全国区選挙で初当選させて頂いてから、今年で丁度、20年の節目となります。各地で賜りました絆と経験を活かして、日本の安全と繁栄、国民の健康と国民生活の安定を図るという国家の命題に、心して取り組んで参ります。

今後ともどうか共に歩んで下さいますよう宜しくお願い申し上げます。  
心からの感謝を込めまして

有村治子



### おかげさまで在職20年です



在職20年目の節目に政経パーティ形式で国政報告会を開催致します。

日時：令和3年9月7日(火)  
18時30分～

場所：東京都市センターホテル

お育て下さっている全国の皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。

ご参加頂けます方はこちらからの申込  
または有村事務所にご一報下さいませ



### 参議院ODA調査団 団長として



タイ王国  
外務省にて  
外務副大臣と

ブータン王国  
首相官邸にて  
ツェリン首相と



### 国民の命・日本の安全を守る

北朝鮮のミサイルに関し、政府が永年使用してきた「飛翔体」という用語について、有村が内閣・防衛省に改善を求め続け、日本政府は「弾道ミサイルと見られる発射事案」と、事実即した報道をするようになりました。

『飛翔体』では北朝鮮ミサイルに対する危機感が国民に伝わりません!



朝日新聞

「飛翔体」表現  
政府は使わず  
自民から論議に批判  
自民党の有村参議院議員はフェイスブックで「飛翔体」を批判し、ミサイル技術の急速な発展させている北朝鮮の危険性が国民に的確に伝わることを主張。

令和2年3月3日および4月29日朝刊  
自民党本部役員会にて、参議院政審会長として発言

### 生まれくる命・子育て環境を守る



長崎県の保育園にて

コロナ禍で国民に支給される「特別給付金」は令和2年4月28日以降に誕生した赤ちゃんに当初受給資格がありませんでした。不妊治療の末、5月以降に赤ちゃんを授かったご家族から有村の元にお手紙が。☑

「緊急事態宣言下で都道府県をまたぐ里帰り出産も家族の付き添いも許されない中で、全国の妊婦さんは新しい命をやっとの想いで産んでいます。新しい命♥もコロナと闘う大事な国民です!」と有村が少子化対策担当大臣経験者として立ち上がり政府と粘り強く交渉。

これによって、4月28日以降に生まれた赤ちゃんにも10万円が交付できる枠組みが構築されました。

### 海洋国家日本の領土・主権を守る



「ヘルメットの似合う議会人」を目指しています。  
岡山県の造船工場にて

領土・主権展示館にて

## 日本の安全と繁栄、世界の安定に向けて